

1. 2023年12月2日、北九州空港滑走路延長事業着工式が開催されました。



県は、北九州空港滑走路延長事業の実現に向け、国・国交省、関係自治体、関係機関、県選出国会議員、県・北九州市議会と連携を図り、貨物便の誘致や貨物取扱量の増加など の実績を積み重ねてきました。

こうした働きかけにより、北九州空港の滑走路延長が実現することになり、今回の事業着工となりました。

北九州空港滑走路延長により、欧米向けの貨物も北九州空港から直接、輸出できるようになります。福岡県だけでなく、北九州空港の背後圏である、九州、西中国地域の競争力の強化につながるものと期待されています。

2. 「福岡県地域公共交通運転手不足問題検討会議」を開催。

バスやタクシーは、日常生活に不可欠な移動手段ですが、運転手の減少が進んでおり、全国的に運転手不足が深刻化しています。

県内でも、運転手不足により路線バスの減便や廃止が行われるとともに、エリアや時間帯によってはタクシーの供給が必要に追いつかない状況が発生するなど、地域公共交通の維持・確保に懸念が生じています。

2024年4月から「運転手の労働環境を改善するための労働時間規制の強化」、いわゆる『2024年問題』が顕在化するため、運転手の確保が喫緊の課題となっています。

こうした状況を踏まえ、本県では2023年11月29日、学識者、交通事業者、行政機関で、「バス・タクシーの運転手確保策等会議」を開催しました。

3. 「福岡県こども食堂応援プロジェクト」こども食堂に県産食材配付しました！

県内のこども食堂を応援するため2023年5月17日に開始した「福岡県こども食堂応援プロジェクト」のふるさと納税による寄附額は、目標の800万円を大きく上回る12,074,600円となっています。

頂いた寄附を活用し、県内のこども食堂に福岡県が誇る美味しい県産食材を届けます。

①寄附の状況：1,207万4,600円（23/11/24 現在）

○個人版（クラウドファンディング型ふるさと納税） 8,477,600円（111人）
○企業版（企業版ふるさと納税） 3,597,000円（8社）

②寄附金の使い道

「福岡県こども食堂ネットワーク」を通じて食材の購入や保管、運送の費用に活用します。

こども食堂に福岡県が誇る美味しい県産食材を届け、こどもたちに食べてもらい、こどもたちの笑顔あふれる社会づくりを進めます。

○配付食材等（1箇所あたり標準）

- ・金のめし丸元気つくし 25kg
- ・はかた地どり 7kg
- ・農協全国商品券

○配付こども食堂数（申込数）：227箇所
(2022年度こども食堂数281箇所の約8割)

○配付時期：2023年12月7日～12月15日



福岡県議会議員 原中誠志 県政事務所を移転しました

これまで13年間に亘りご愛顧賜りました六本松事務所ですが、ビル再開発により立ち退き、移転となりました。「福岡高等裁判所」の東側（左手）に新事務所を構えましたので、お近くにお寄りの際は、是非ともお立ち寄り下さい。
(谷2丁目セブンイレブンの右隣りです→)

〒810-0031 福岡市中央区谷2-14-13 セッション六本松A

電話：092(406)9390 FAX：092(406)9391

MAIL：info@haranka.jp (電話、FAX、メールは変更なし)

